

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	病理組織学的手法を用いた腫瘍組織中のがん関連分子の発現に関する研究
	研究目的	臨床腫瘍組織におけるがん関連分子の発現等の挙動を詳細に解析してその実態を明らかとし、新規分子標的薬および患者層別化のための診断薬開発につなげる。
	研究期間	2015年1月29日から2019年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	宮城洋平
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	呼吸器外科・内科、消化器外科、乳腺内分泌外科、泌尿器科、骨軟部腫瘍外科、病理診断科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし